| 学校番号 | 3032B |
|---|---|

令和８年度　総合

| 教科 | 総合 | 科目 | (学)課題探究 GS Ⅰ | 単位数 | 1 単位 | 年次 | 2 年次後期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 教科作成プリント | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで産業社会と人間や総合的な探究の時間で学習してきた内容を踏まえ、地域課題と国際課題を背景に、系列での学びと繋げ、自分たちなりの課題探究を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

・課題の整理や分類、解決方法の模索において適切なシンキングツールを活用することができる。系列での学びをきっかけに、能勢・豊能地域の課題を把握することができる。
・課題の背景を考え、様々な地域での実践事例を比較することで、自ら課題を設定し、新たな価値を見出しながら、持続可能な社会の形成に必要な解決策を検討することができる。
・グループ内や、地域の協力者と協働的に取り組み、主体的に課題の解決に向かう。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 系列・学習群での学びから、地域の課題を理解し、自らの課題を設定する。解決に向けて必要な知識や情報を収集する技能を身に付ける。 | 地域と自己との関わりから見出した問いについての課題や情報、また国内外の地域の情報をもとに、自分の考えを構築し、整理・分析して、まとめ・表現している。 | 探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会実現しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 後期 | | 能勢町役場の取組み紹介<br>課題背景の調査<br>問いづくり<br>地域比較<br>協力者へのインタビュー | a: 系列の学びと地域の取組みを知り、より良い社会になるための課題を見つけることができる。<br>b: 興味関心のある事柄から連想し、質の高い問いを立てることができる。適切な表現を用いながら、外部の人とのコミュニケーションを円滑にとることができる。<br>c:学んだ内容から新しい発見や考察を深め、新たな価値を見出そうとしている。自らの探究活動を進めるために他者と協働的に課題を解決しようとしている。 | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート | 提出物<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度